

3. 防除事例の紹介

協議会では、平成 20 年度から平成 22 年度にかけて、一斉防除試験を行いました。ここでは、平成 22 年の秋に個体数を調査した事例について紹介します。

これらの事例は、本マニュアルを策定するにあたり、**それぞれの市がベイト剤の種類や設置期間に工夫をこらして防除を行ったものです**。各市の一斉防除の特徴と、防除効果の評価は下表のとおりです。防除実施場所の特徴やその他詳細は、次ページ以降に示します。**いずれも、70%以上の削減効果**を得ることができました。

なお、この評価は実際に得られたものですが、同じ方法でも、防除を実施する年や場所などの条件の違いにより、防除効果はいくらか変わるものと考えられます。実際に行う際の参考程度としてお考えください。

防除方法の特徴と一斉防除の効果

実施団体	廿日市市	岩国市	柳井市	大竹市
平成 22 年度一斉防除の範囲	150 戸 約 6 ヘクタール (侵入範囲の一部)	2,720 戸 約 150 ヘクタール (侵入範囲の一部)	180 戸 約 12 ヘクタール (侵入範囲の全域)	550 戸 約 52 ヘクタール (侵入範囲の全域)
使用したベイト剤	アンツバスター、アリメツ	アルゼンチンアリ ウルトラ巣ごと退治	アンツバスター、アリメツ	アリの巣コロリ
ベイト剤設置期間	1 週間	1 週間	4 日間	1 日半
その他殺虫剤	アルゼンチンアリ 巣ごと退治液剤	なし	なし	アルゼンチンアリ 巣ごと退治液剤
工夫内容	ベイト剤設置とあわせて、連鎖効果のある液剤を使用	小分け作業の不要なベイト剤を使用	前半 2 日にアンツバスター、後半 2 日にアリメツを使用	液剤を主体に使用し、補助的に小分け作業不要なベイト剤を使用
殺虫剤等にかかった費用	1 戸 1 回あたり 住宅分：約 1,500 円 道路等分：約 730 円	1 戸 1 回あたり 住宅分：約 720 円 道路等分：約 70 円	1 戸 1 回あたり 住宅分：約 1200 円 道路等分：約 50 円	1 戸 1 回あたり 約 2,400 円 (住宅・道路分等含む)
防除回数	2 回の防除 平成 21 年 10 月 平成 22 年 7 月	1 回の防除 平成 22 年 8~9 月	3 回の防除 平成 20 年 10 月 平成 21 年 6 月 平成 22 年 7 月	3 回の防除 平成 20 年 10 月 平成 21 年 6 月 平成 22 年 7~8 月
防除効果評価範囲	一斉防除範囲の全域	一斉防除範囲の一部 (約 1.5 ヘクタール)	一斉防除範囲の全域	一斉防除範囲の一部 (約 16 ヘクタール)
防除効果	約 95%削減	約 70%削減	約 80%削減	約 80%削減

※ 使用した薬剤については、資料編-8~11 を参考にしてください。

廿日市市の事例

スケジュールの決定 薬剤・説明資料の準備

(平成 22 年 5 月)

対象：6 ヘクタール

1
ヶ
月
半

説明会の実施 薬剤の配布

(平成 22 年 6 月)

3
週
間

モニタリング
6/29

一斉防除の実施

(平成 22 年 7 月)

モニタリング
7/16

モニタリング
10/15

●防除効果評価範囲の特徴

- ・防除効果評価範囲は、侵入範囲の一部の住宅街である。範囲内には、学校等の公共施設も含まれる。
- ・東及び南は海に面しており、この方向からのアリの侵入はない。



※この地図は、国土地理院の数値地図 25000 (地図画像)『廿日市』を使用したものである。

●評価範囲の防除にかかった費用

- ・アンツバスター 16 万円 (19 本)
 - ・アリメツ 6 万円 (118 本)
 - ・アルゼンチンアリ巣ごと退治液剤 2 万円 (27 本)
 - ・マイクロチューブ、綿球、液剤用スプレー容器※ 11 万円
- ※アルゼンチンアリ 巣ごと退治液剤を 300mL に分けて、各戸に配布した。

●防除方法

- ・原則、本マニュアルのとおりで、ベイト剤を 1 週間後に回収した。
- ・ベイト剤設置の翌日及び 2 日後に見つけた行列や巣に、アルゼンチンアリ巣ごと退治液剤を直接かけた。

防除スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
	7/5	6	7	8	9	10
	設置	★	★			
11	12	13	14	15	16	17
	回収					

※ ★の日に、アルゼンチンアリ巣ごと退治液剤を使用した

●防除効果の評価方法

- ・シヨ糖ベイト法：160 箇所
防除前：6/29 防除後：7/16、10/15
- ・アンケート調査 (防除前・防除後)

防除効果の評価：前年度秋にも防除しており、2 回の防除の結果、防除しなかった場合に比べてアリの数を約 95%削減

岩国市の事例

スケジュールの決定 薬剤・説明資料の準備

(平成 22 年 7 月)

対象：150 ヘクタール
(効果判定範囲は
1.5 ヘクタール)

1
ヶ月

●防除効果評価範囲の特徴

- ・防除効果評価範囲は、侵入範囲の一部の住宅街である。
- ・西及び南の住宅街は別の日に一斉防除を実施しており、この方向からのアリの侵入の可能性は低い。



※この地図は、国土地理院の数値地図 25000 (地図画像) 『大竹』を使用したものである。

説明会の実施 薬剤の配布

(平成 22 年 8 月)

1
週間

●評価範囲の防除にかかった費用

- ・アルゼンチンアリ ウルトラ巣ごと退治
4.5 万円 (60 箱)

●防除方法

- ・原則、本マニュアルのとおりで、ベイト剤を 1 週間後に回収した。
- ・ベイト剤は、小分けの不要な『アルゼンチンアリ ウルトラ巣ごと退治』を使用した。

一斉防除の実施

(平成 22 年 8 ~ 9 月)

モニタリング
9/15

モニタリング
10/14

防除スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
	8/30 設置	31	9/1	2	3	4
5	6 回収	7	8	9	10	11

●防除効果の評価方法

- ・シヨ糖ベイト法：100 箇所
防除前：8/26 防除後：9/15、10/14
- ・アンケート調査 (防除前・防除後)

防除効果の評価：平成 22 年度の 1 回の防除で、防除しなかった場合に比べてアリの数を約 70%削減

柳井市の事例

スケジュールの決定 薬剤・説明資料の準備

(平成 22 年 5 月)
対象：12 ヘクタール

1
ヶ
月
半

説明会の実施 薬剤の配布

(平成 22 年 5 月)

1
ヶ
月
半

モニタリング
7/2

一斉防除の実施

(平成 22 年 7 月)

モニタリング
7/22

モニタリング
10/14

●防除効果評価範囲の特徴

- ・防除効果評価範囲は侵入範囲の全域であり、住宅と田畑が混在している。
- ・侵入範囲全域が対象であり、防除範囲外からアリが侵入することはない。



※この地図は、国土地理院の数値地図 25000 (地図画像)『柳井』を使用したものである。

●評価範囲の防除にかかった費用

- ・アンツバスター 11 万円 (12 本)
- ・アリメツ 6 万円 (110 本)
- ・マイクロチューブ、綿球 5 万円

●防除方法

- ・原則、本マニュアルのとおりで、2 種類のベイト剤を使用した。
- ・最初 2 日間はアンツバスターを、その後 2 日間はアリメツを設置した。

防除スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
	7/5	6	7	8	9	10
	設置	→ 交換		→ 回収		
		顆粒		液体		

●防除効果の評価方法

- ・シヨ糖ベイト法：100 箇所
防除前：7/2 防除後：7/22、10/14
- ・アンケート調査 (防除前・防除後)

防除効果の評価：一昨年度秋から 3 回の防除を行っており、3 回の防除の結果、防除しなかった場合に比べてアリの数を約 80%削減

大竹市の事例

スケジュールの決定 薬剤・説明資料の準備

(平成 22 年 6 月)

1
ヶ
月
半

対象：52 ヘクタール
(効果判定範囲は
16 ヘクタール)

説明会の実施 薬剤の配布

(平成 22 年 7 月)

1
週
間

モニタリング
7/27

一斉防除の実施

(平成 22 年 7 月)

モニタリング
8/3

モニタリング
9/15

●防除効果評価範囲の特徴

- ・防除効果評価範囲は侵入範囲の一部であり、住宅と田畑が混在している。
- ・南は川に面しており、北及び西の範囲も一斉防除を実施していることから、この方向からのアリの侵入の可能性は低い。



※この地図は、国土地理院の数値地図 25000 (地図画像)『大竹』を使用したものである。

●評価範囲の防除にかかった費用

- ・アルゼンチンアリ 巣ごと退治液剤 60 万円 (960 本)
- ・アリの巣コロリ 25 万円 (600 箱)

●防除方法

- ・アルゼンチンアリ巣ごと退治液剤をメインに防除を行い、補助的にベイト剤を使用した。
- ・1 日目、2 日目及び 5 日目は、朝・夕の 2 回、アリの行列に液剤を使用した。
- ・3 日目の朝に、アリの巣や行列近くにベイト剤を設置し、4 日目の夕方にベイト剤を回収した。

防除スケジュール

火	水	木	金	土	日	月
	7/28 ★	29 ★	30 設置	31 →	8/1 回収 ★	

※ ★の日は、朝・夕にアルゼンチンアリ巣ごと退治液剤を使用

●防除効果の評価方法

- ・シヨ糖ベイト法：100 箇所
防除前：7/27 防除後：8/3、9/15
- ・アンケート調査 (防除前・防除後)

防除効果の評価： 一昨年度秋から 3 回の防除を行っており、3 回の防除の結果、防除しなかった場合に比べてアリの数を約 80%削減

4. よくある質問 (Q & A)

Q ベイト剤は、人にとって安全ですか。

A アリ用として市販されているベイト剤は、多量に食べたりしない限りは、健康被害はほとんどないものと考えられます。ただし、体質により、アレルギー反応や気分が悪くなることも考えられますので、口に入ったりしないよう、取扱いには十分に注意してください。

Q ベイト剤は、ペットにとっては安全ですか。

A 市販されているアリ用ベイト剤に含まれる成分は、魚やエビ・カニなどの水生動物に対して毒性が強いものがあります。また、ハムスターなどの小型のほ乳類や鳥などの小動物にも影響を与える可能性があります。これらをペットとして飼育されている場合には、誤って薬剤を食べたり、触れたりすることがないように、保管や取扱いに注意してください。犬や猫などの中型以上の動物に対する毒性は低く、一箇所あたりの使用量を少なくすることで、万が一摂食した場合においても問題はないと考えられます。ただし、薬剤を入れた容器ごと飲み込むことがないようにしてください。

Q ベイト剤に集まってきたアリに、殺虫剤を吹きつけてもいいですか。

A 一斉防除では、アリがベイト剤を巣まで持ち帰り、他のアリに分け与えることで効果を発揮します。ベイト剤に集まったアリやその行列には、ベイト剤を多く持ち帰るよう、殺虫剤を使わないでおきましょう。

Q 家の中で見つけたアリに対しては、どうすればいいですか。

A 一斉防除の期間に関わらず、屋内で見つけたアリは駆除してください。
1匹から数匹程度であれば指で潰し、行列をつくっているなど数が多いようであれば、アリ用殺虫剤の使用をおすすめします。
また、可能であるなら、出入口を探しパテなどで塞ぐ、出入口に忌避剤を塗布するなど対処することで、再侵入を減らすことができます。

Q 一斉防除により、侵入したアルゼンチンアリを根絶できますか。

A 世界的にみても、アルゼンチンアリの根絶の事例はありません。
一斉防除は、実施事例はまだ少ないですが、現時点で最も効果が高いと考えられる防除方法の一つです。一斉防除の実施により、アルゼンチンアリの数を減らし、家屋侵入などの被害を減らすことには成功しています。

Q 農薬を防除に使ってもいいですか。

- A 農薬取締法により、“農薬”は登録された使用基準（対象・時期・方法）以外の方法では使えません。アルゼンチンアリを対象に登録された農薬はありませんので、アルゼンチンアリの防除で使用できる農薬はありません。（平成23年1月現在）
農地でアルゼンチンアリの防除を行う場合は、“農薬以外の薬剤”を使用し、土地や農作物に残留しないように、収穫期を避け、農作物から離して使用してください。

Q アリの巣の場所を知りたいのですが、どのように探せばいいですか。

- A アルゼンチンアリは、コンクリートの割れ目や植木鉢の下などの隙間を好んで巣として利用します。これらの場所を探してみてください。
また、行列をたどっていくことでも、巣を見つけることができます。

Q 巣の中の卵やサナギに対して、ベイト剤は効果がありますか。

- A 働きアリが幼虫や女王アリにベイト剤を分け与えることで、これらに対しても防除効果を発揮します。
卵やサナギはエサを口にしないため、直接的な効果はありませんが、働きアリが減り、十分に世話が行き届かなくなることで、間接的に効果があると考えられます。